

京都洛北

まちくさみっけ とは？

Presented by NISSHA

「まちくさ」とは、町なかに自然に生える草のこと。「まちくさ博士」とアーティスト重本晋平氏のガイドのもと、日ごろ見過ごしがちな「まちくさ」を観察し、ユニークな名前をつけて、発表するワークショップ。

主催：NPO法人京都洛北・森と水の会
企画：NPO法人子どもとアーティストの出会い
協賛：日本写真印刷株式会社



NISSHA まちくさ 検索
まちくさ作品 Webで公開中!

身近な

「環境×アート」の

子ども向けワークショップを開催



京都の企業・寺社・NPOが将来世代支援で協働

秋晴れの気持ち良い日。去る10月20日に、10回目の『京都洛北 まちくさみっけ！』が開催されました。今回は、京都市立の小中一貫教育校として7年前に設立された「京都大原学院」3・4年生16名が参加。まちくさ博士と一緒に、洛北の自然を感じる「寂光院」で、まちくさを見つけました。カメラを手にした子どもたちは、境内の苔むした庭へ出て、いつもより身を低くしたり、斜面に挑んだりと一生懸命。木株の穴にひっそり咲く「まちくさ」や、滝の水際に咲く「まちくさ」などを見つけ出しました。撮影が終われば、写真の中からお気に入り

を選び、オリジナルのまちくさ名をつけ、それになまつわる物語を作って発表しました。「はっぱの夕日」「地球のはじまり」「こびとの遊び場」などユニークなネーミングと素敵なストーリーに「短編映画や童話を見ていたように、思わず引き込まれました」とまちくさ博士。また、寂光院の瀧澤住職は「子どもも創造力は無限ですね」と感想を述べられました。

新たな発見があったみたいですね。子どもたちの豊かな感性、素晴らしい観察力、ユニークな表現力には本当に驚かされます。また、自分と他人の感じ方や考え方の違いを認めることも大切。お互いの個性を認めあつて、心豊かな人に育っていただきたいと願っています」と子どもたちの成長への期待を話してくれました。



「はっぱの夕日」と命名されたまちくさ

PICK UP!

NISSHAの北村広美さんは、谷口キヨコさんがDJを務めるα-stationの人気番組「CHUMMY TRAIN」にも出演。今回のワークショップや女性の活躍などについて語りました

NISSHA

日本写真印刷株式会社

にほんしゃしんいんさつがぶしきがいしゃ

1929年に京都で創業。印刷技術を進化させながら成長。スマートフォンやタブレット用のタッチセンサーの開発・量産や、自動車内装や家電に使われる身近なプラスチック製品の表面加飾（デコレーション）、医療機器、新型の化粧品の開発まで、さまざまな分野でグローバルに製品やソリューションを提供し、豊かな生活の実現に貢献している。

www.nisssha.com



日本写真印刷株式会社
京都本社（京都市中京区）
1906年建築の本館（写真：左手前）は、2011年に国・登録有形文化財に登録



Nisssha People 検索

Webサイト「We are Nisssha People!」公開中。仕事のやりがいやワーク・ライフ・バランスについてリアルな声を発信

働く女性も応援しています!

NISSHAは、女性活躍推進にも積極的な会社です。2年前からプロジェクトチームを結成。昨年は京都本社で女性社員約180名が参加する「女性活躍推進フォーラム」を開催しました。

また、社員のワーク・ライフ・バランスを支援する制度も充実させています。制度の利用を促進するためのハンドブックやイントラネットも活用し、社員のさまざまな働き方や仕事と家庭の両立をサポートしています。

Empowering Your Vision